

ビデオ・DVD教材リスト

【外国人】

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
31	外国人	サラムという名の隣人	「サラム」は朝鮮語で「人間」を意味する。学校の先生を目指す在日三世の大学生を通して、民間企業での就職活動の厳しさ、国籍条項によって教師になれない差別の現実などを在日コリアンの生の声で訴える。
		38分 中学生以上 1992年	
33	外国人 (アニメ)	いちばん近くに	小学6年生の早智は、弟の健太のクラスに転校してきた在日韓国人・金英浩が周囲から特別視されたり、因縁をつけられている様子を見て心を暗くしていた。ピアノの練習で腕を痛めた早智は、英浩の自宅・金医院で治療を受け、ピアノを通じて英浩と心を通わせる。しかし、それを快く思わないクラスメイトの明の叱咤を受けて、傷ついた英浩が失踪してしまう。このビデオは、とりわけ小・中学生の子どもたちが、異なる文化や習慣を尊重し、共生する社会をつくることの大切さに気づいてくれることを目的に制作。
		22分 小学生以上 1996年	
46	外国人 (アニメ)	残された名刺	「世に栄光を求めたわけじゃありません。人間としての尊厳を犯されることなく、静かに暮らしたかっただけです」という在日一世の苦難の道。その背景に、日本と朝鮮の近代史が重なる。日本人にとっても生きにくかった時代を振り返り、日本のよりよい未来を話し合うきっかけとなる作品。
		30分 中学生以上 1996年	
94	外国人	夢の箱	結婚を機に日本で生活することになったタイ出身の女性を中心に、彼女と彼女の家族が出会うさまざまな場面を通して、一人一人が、互いの文化や生活習慣の違いを認め合い、理解していくことの大切さを描いている。たとえ、一時的に摩擦が生じて、本音で交流することで真の理解が生まれる。相手を人間として尊重し、思いやる心は、現代の日本人にとって、改めて考えるべき重要なテーマ。
		50分 一般 2000年	
98	外国人	人権ってなあに第3巻 わいわいごちゃごちゃ	長田区と川崎市を舞台に在日韓国・朝鮮人の取り組みと、共に活動する日本人姿を紹介。「在日」の歴史も織りませ、「わいわいごちゃごちゃ」一街に暮らすさまざまな民族の人たちが、共に生きていくことの大切さを探る。
		34分 中学生以上 2000年	
100	外国人	人権ってなあに第5巻 いっしょに歩こう	80年代後半からたくさんの外国人が働く場を求め日本にやってきた。しかしそこに横たわっていたのは低賃金、社会保障なしの劣悪で不安定な労働条件、企業や地域社会での根深い偏見や差別。さまざまな人権侵害のなかで外国人たちは自ら声を上げ、手を結び、日本社会のなかで生きようとしている。そんな外国人をサポートする日本人、一緒になって地域社会での共生の道を探ろうと模索する人たち。21世紀における日本社会の国際化のあり方が、今問われている。
		45分 中学生以上 2001年	
124	外国人	この街で暮りたいー外国人の人権を考えるー	入居拒否の例をもとに、近年日本に移り住むようになった外国人への偏見を描きながら、外国人の人権について考える。国際化が進む中で、お互いに違いを認め合い、共に生きていくことができる社会を築いていくことの大切さを伝えている。
		32分 高校生以上 2002年	

番号	分類	作品名	内容
		時間・対象・制作年	
181	外国人	DVD 外国人と人権 違いを認め、共に生きる	このDVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。
		33分 一般 2016年	
183	障がい者 (外国人)	DVD わたしたちが伝えたい、大切なこと —アニメで見る全国中学生人権作文コンテスト 入賞作品—	『差別のない世界へ』 (8分) 中学生である主人公が、自らの経験を通して差別される側の心の痛みを知り、父の言葉を思い起こして差別に立ち向かう勇気を得る経緯を描く。 『手伝えることはありますか』 (7分) 事故で右手を失った父に対して「何でもやってあげよう」と考えた主人公ですが、実際の父との暮らしのなかでやがて大事なことに気付いていく。 『共に生きるということ』 (7分) 主人公が、人権学習の講師として来た視覚障害のある小林さんの言葉を聞くことで、自分が今まで持っていた障害のある人=弱者という考え方が変わっていく過程を描く。 【審査委員長からのメッセージ】 (8分)
		31分 中学生～一般 2016年	